

# スポーツ推進だより

平成28年12月 No.123



スポーツ推進委員第2回全体研修会 (28.8.20)

## スポーツ推進だより 目次

スポーツ推進委員第2回全体研修会 .....	2
愛知県スポーツ推進委員研修会 (東海市) .....	3
Area report (六ツ美中部学区、大樹寺学区) .....	4
西三河地区スポーツ推進委員実技研修会 (知立市) .....	6
広報部 report (連尺学区ファミリーバドミントン大会、緑丘学区ナイターキックソフト大会) .....	7
第68回岡崎市民駅伝競走大会広報 .....	8

# 第2回全体研修会

緑丘学区 近藤 康弘  
根石学区 後藤 禎夫

## マレットゴルフ



8月20日(土)、豊田市にある柳川瀬公園マレットゴルフ場で第2回全体研修会が開催されました。今回の研修種目は「マレットゴルフ」で、スポーツ推進委員48名が参加しました。

リオデジャネイロオリンピックが大いに盛り上がっている最中、連日の応援で寝不足気味のスポーツ推進委員と役員、そしてご協力いただいた岡崎市マレットゴルフ協会の会員の皆さんを含めて80名ほどが、暑さ厳しい午後3時から2時間ほどマレットゴルフの研修を行いました。

今回の研修では、スポーツ推進委員3名で一つの班を作り、その班にマレットゴルフ協会の会員さん2名ずつが入って下さり、指導と見本を示しながら一緒にプレイしました。

16の班に分かれ、それぞれ決められたホールからスタートします。ホールによっては、木が生い茂り日陰で涼しいホールもあれば、日差しが降り注ぐ炎天下のホールもあり、まさに自然を感じながらのスポーツです。

はじめに、15分ほどスタートホールで練習しました。ゴルフの経験者でも、コツをつかむのに苦労していました。少し強く打つと、OBになってプラス1打になってしまいます。起伏があり、弱すぎるとボールが進んでいきません。バンカーのような砂地に入ってしまったら、木の根元で止まってしまったり、なかなか思うようにボールは転がってくれません。しかし、たまにナイスショットが出たり、バーディーで回れたりすると気持ちがいいものです。メンバーとの会話を楽しみながら和気あいあいとまわりました。

指導者役の会員さんは、何年も練習を重ねているので、ホールを知り尽くしています。「このホールは、傾斜を考慮して少し右方向に向けて打つといいよ。」とアドバイスをいただき、そのように打つと緩くカーブしながら真ん中のちょうどいい所へ転がっていきました。だんだんコツがつかめてくると楽しくなってきます。

ゴルフ未経験者でも的確なアドバイスを受けたり、一緒に回っているメンバーを見ながらコースをよんだり予測したりしてカップインすると思わずガッツポーズが出てしまいます。ゴルフ経験者の方はホールインワンを狙ったり、無謀なコースに挑戦するショットを打ったり、それぞれの楽しみ方を見つけながらプレイしていました。

豊田市にはいくつかマレットゴルフ場がありますが、岡崎市にはまだ完全に整備されているマレットゴルフ場はありません。矢作地区に9ホールのマレットゴルフ場が一つあるだけだそうです。今後、多くの方が健康を維持し充実した生活を送れるような環境づくりも大切だと思いました。



# 平成28年度 愛知県スポーツ推進委員研修会

矢作南学区 伊藤 仁

平成28年度愛知県スポーツ推進委員研修会が、9月17日(土)、東海市芸術劇場で開催されました。今回愛知県内より、総勢1,073名、うち岡崎市からは14名の参加です。研修会の趣旨は、県内各市町村におけるスポーツの推進に関する諸問題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質向上を図ることにあります。研修会に先立ち、スポーツ推進委員20年、10年経験者の方々の表彰が行われました。

今回の研修会では、犬山市と蒲郡市の実践発表が行われました。

犬山市は主題を「スポーツで感動」と銘打ち、毎月1回小学生以上を対象にニュースポーツに親しむ講習会の開催、またそれで培ったプレーを試す機会として年2回「スポーツフェスティバル」を開催されています。また今年度より、健常者・障害者が共に楽しめる交流会を計画されているとのこと。変わり種として「スポーツ婚活」ニュースポーツに親しみながら、新たな交流と出会いの場を創ることを目的にと行われたものです。犬山市では、常に調査・分析して、市民のニーズに合うことを!と、活動されているとの言葉が印象的でした。



続いて蒲郡市、テーマは「合言葉は、3つの『C』」。市内11地区の公民館を活動拠点とし地域毎にスポーツ活動を通じてCommunication作りを進めていること。また、それらを地道に継続(Continuity)し、運動機会を提供・認知してもらうことに取り組みられています。そのひとつにダーツ大会が行われていますが、10～84歳の幅広い年齢層から参加されているとのこと。近年はさらに他団体と連携(Collaboration)しながら、より身近な存在となるよう取り組みを始められています。

その後の情報交換では、武豊町による「障害者との関わり」について紹介がありました。平成21年の出前教室をきっかけに、「ふれあいスポーツ交流会」を催されています。種目選定でカローリングに決め、車イスに腰かけたままでもジェットローラーを押し出せる「魔法の棒」の実演も交え、ルールや道具なども工夫されています。他にもキンボールのボールを利用した大玉ころがしなど種目も徐々に増やしているとのこと。ただ今日のスタイルに至るまでの失敗談や気をつけなければいけない点の紹介もあり、大いに参考になりました。



# Area Report

## 学区紹介

### 竹馬でギネスに挑戦!

田中 邦明

約50年にわたり、小学校で毎年正月に開かれている竹馬大会から、住民の大半が「竹馬に乗れる」ユニークな学区、それが六ツ美中部学区です。そんな町の資産を生かして、市制100周年記念行事として9月18日六ツ美中部小学校運動場にてギネスに挑戦しました!

挑戦者は竹馬に乗って100mを歩き(走り)、次の人への順次つないでいきます。竹馬がバトンとなり、途中で落ちてでもその場からやり直せば大丈夫ですが、一度コースに出たら自力でゴールしなければなりません。1人1回で24時間以内に何人つないだかがギネス記録になります。ちなみに標準記録250人以上で記録樹立に成るそうです。



参加者348人、小学校1年生から上は83歳まで。午前4時45分開会式、5時 萩原社教委長の合図で第1走者がスタートした。1組約24人で1時間を目安に進められた。1時間を過ぎたころ、雨脚は激しくなり水が浮きコースが荒れて竹馬が止まり、「竹馬の足ゴム破損だ!」とバトンエリアでスタッフが叫んだ。直に挑戦エリアの証人2名が呼ばれスベアの竹馬とチェンジ、私達タイムキーパーも時間を記録した。その後も転倒によりポールが折れ曲がり、二度目の足ゴム交換とトラブルは続き先が思いやられたが、挑戦者の中には蜂須賀美帆さん(18歳)が29秒、名倉陽太さん(20歳)が22秒と激走する者もいた。そして先生たちの登場により、生徒や父兄の応援と体育委員長の激励アナウンスに勢い付いた。その後は町別区間に入り、各町の体育委員がナレーターとして挑戦者に激励を送った。

午後2時ギネス公式認定員マクミラン舞氏が入場され、事務局と主催内容確認に会場を一回りすると、別室で午前中撮影したビデオや写真のデータを険しい顔で全て確認した。特に挑戦エリアでは、一人ひとりの顔をチェック、不鮮明な者は何度も見直し会場に再度現れたのはナイター照明が灯った後だった。午後7時を過ぎた頃、雨が強くなり稲光(雷だ!)が急に慌しく成り10分間の中断放送が入った。その後天候は回復せず、認定委員と協議の上14時間42分44秒 挑戦者329人で時計を止めた。挑戦出来なかった19人の方は残念でしたが、安全を第一に考えた運営委員の決断に辞めるのも勇気と教わり、午後8時30分同体育館にて、マクミラン舞氏から実行委員長に認定証が手渡された。

記録達成! **329人**  
(標準記録 250人)



ギネスへの挑戦を通じ、総勢150人のスタッフ・挑戦者・応援して頂いた皆さんご苦労様でした。貴重な経験が出来た事とタイムキーパーを手伝ってくれたスポーツ推進委員に感謝しています。ありがとうございました。



# Area Report

## 学区紹介

### 学区運動会

洞井 治

岡崎市には47の小学校区があります。その中で、小学校の運動会と学区の運動会が別々に開催されている学区はほんの少しと聞いています。昔は、運動会と言えば秋の開催でしたが、最近は、春の開催がほとんどです。大樹寺学区では、春に小学校の、秋に学区の運動会を開催しています。従って、子どもたちは年に2回運動会を楽しむことができます。



春の運動会は、学校がすべて企画し開催されますが、秋の運動会は、子ども会、体育部、女性部を含む社会教育委員会が企画します。今年度は、7月16日に第1回の学区運動会説明会を開き、器具係と招集係の役割分担と選手選考内容の確認を、8月20日の第2回打ち合わせ会で、具体的にそれぞれの競技内容の確認を行い、本番は9月4日(日)でした

当日の運営は、器具係の子ども会委員さん、招集係の体育部委員さん、審判担当の学校開放委員さん、飲み物等のバザー担当の女性部委員さん、そして北中学校ボランティアの生徒さんです。係の主担当にスポーツ推進委員を当てています。18町区対抗、小学生から高齢者まで、観客を含めて、総勢2000名を超える参加者の大イベントです。

競技内容は大食い競争、幼稚園児の徒競走、高齢者のゲートボール競争、玉入れ(小学生)(一般)、台風の日、大縄跳びに加え、小学生男子・女子の選抜リレーと障害物競争、市民体育祭の予選でもある一般選手によるリレーと障害物競争があります。この競技を子ども会に在籍する小学生の人数に合わせた3ブロックに分けて行います。これだけの競技内容をたった2回の打ち合わせ(打ち合わせ時間はそれぞれ1時間程)で実施することができる大樹寺学区の「連携の強さ」が私の自慢です。

平成6年に体育指導委員に任命されて以来、毎年9月第一日曜日の学区運動会で、スターターとしてピストルを鳴らしてきて今年が22回目でした。残暑が年を追うごとに厳しくなり、子どもたちの健康面を考慮して、春に小学校との合同運動会にしたらというご意見もたくさんありました。

しかし、家康公の伝統を受け継ぐ歴史ある大樹寺小学校の運動会を継続すべきという思いと、学区民の繋がりを深める意味において、春と秋の2回の運動会を継続しています。

最近の異常気象や各地で起こる地震や火山の噴火、いつ起こるかわからない自然災害時に初期行動として、ご近所同士が協力し合うことが本当に大切だと思います。学区運動会を開催することがその初期行動を起こすきっかけとなることを願っています。



# 平成28年度 西三河地区スポーツ推進委員実技研修会 に参加して

岩津学区 市川敏行

平成28年11月5日、西三河地区スポーツ推進委員実技研修会が知立市福祉体育館・草刈り公園グラウンドで行われました。岡崎市を含め西尾、安城、刈谷、豊田、みよし、高浜、碧南の各市、スポーツ推進委員約200名(岡崎市からは25名)が参加して、ラージボール卓球、和太鼓、ポールウォーキングの3種目を研修してきました。

## 【ラージボール卓球】



普通の卓球台とラケットを使いますが、ネットが2cm高くピンボールの直径が4mm大きいこととサーブを打つ範囲が決まっています(サイドラインの延長線以内)卓球台に手を着くのは禁止、サーブは2本交代、11点先取10点でデュースは最高13点までになっていますが誰でも結構楽しめる種目だと思います。

## 【和太鼓】



知立市立竜北中学校和太鼓部「御祖」1,2年の皆さんが補助にあたり、撥の持ち方、構え方、打ち方、強弱の確認を行い、初めに模範演奏があり研修に入りましたが、なかなか上手く出来ません。①～⑦までのリズムを行いますけどだんだんと早くなり打ち方の強弱をリズムに合わせるのが大変でした。体力も使いますが、はまる可能性もあり機会があればもう一度体験したい種目でした。

## 【ポールウォーキング】

スキーのストックによく似たポールを使用して歩行に合わせてポールを前について歩きます。よく見る運動(種目)ですが、実際に行ってみるとかなりの運動量になります。姿勢を良くしてゆっくり歩いたり早く歩いたりして単純な動きだと思いますがインターバルで繰り返し歩くと結構きついかもかもしれません。しかし、仲間と話しながら歩くことは健康にも良く、ダイエットにも効果的だそうです。運動不足の方にはぜひ進めたい種目ですね。



以上の種目を研修しましたが、研修会の前にスポーツ推進委員の5年・15年表彰があり私は15年表彰を受けました。5年表彰で岡崎市からは平野健一さん、平林良浩さん、山本玲貴さん、横井利幸さん、香村良孝さん、太田佐知子さん、小玉由加里さん、辻めぐみさん、野本小百合さんの9名が表彰されました。



長いようで短いような15年でしたが、ここまで勤められたのは体育指導委員時代から良い仲間巡りに巡り合い(先輩、後輩)市、地区、学区の皆さんのご協力のご指導があったからだと思います。これからも生涯スポーツを楽しむ方のお力になれるように初心に戻りながら頑張りたいと思います。スポーツ推進委員の皆様、よろしくお願ひ致します。そして、有難うございました。

# 広報部 report

連尺学区

鈴木 克典

## 第1回ファミリーバドミントン講習会

平成28年7月24日、連尺小学校体育館にてルール講習、実技研修、試合体験が実施されました。



連尺学区においてファミリーバドミントンの普及と理解のため広く参加者を呼びかけ、当日は小学生から年配者まで幅広い年齢層でたいへん多くの方々に参加をいただきました。参加者全員「はじめて経験する」ニュースポーツのため、ルール説明を真剣に聞いていただきました。

### 参加者の声

- ・「バドミントンとバレーボールをミックスした感じでルールは覚えやすかった」
- ・「はじめはコート内での(前衛後衛の)動き方やルール、ローテーションに戸惑ったが練習していくうちに慣れてきた」
- ・「(バドミントンのシャトルと比べて)大きいので、スピードも緩やかでたくさんラリーができて楽しかった」
- ・「どうしてもスマッシュする時に(ラケット面が地面垂直を越えて)打ちこんでしまう、かえって上に打つのが難しい」(バドミントン経験者)
- ・「力やスピードは必要ないので、気軽にできるスポーツなので誰でもプレーができる」
- ・「選手3名なのでバドミントンより守りやすい、あまり(プレーが)忙しくなくて良い」
- ・「思ったよりチーム内での連携が必要、声を出すことも大事だと感じた」
- ・「打つ力の入れ方が難しかった、また打ち返すコースを誤るとすぐに相手チームのチャンスになってしまうので作戦をたてなければならぬ」
- ・「ラリーが続くため、なかなか1点取るのが難しい」

### 実技研修・試合体験風景

【 相手からの返球が  
後衛2人の真ん中に 】→



【 お互いお見合い、  
危うく衝突 】



【 白熱したプレー 】



学区の老若男女がファミリーバドミントンというスポーツを通じて親睦を図る機会となったことが何よりも収穫でした。

他のスポーツでの学区大会では競技によっては同じ顔ぶれとなってしまうがち、今回の講習会では普段学校に来て運動することのなかった方たちの参加も多く、最初は遠慮がちだった方も体験をしていくうちに声もできるようになり選手同士親しくなり和やかな雰囲気ですべて講習会が進みました。運動不足気味な参加者も気持ちいい汗をかき心地よい1日となりました。私自身も学区の方々の笑顔で充実した日を送ることができ講習会は大成功をおさめることができました。

## ナイターキックソフト大会

今回はスポーツ推進委員が他学区の行事に出向きレポートする、というスタイルで活動を報告します。第1回は緑丘学区のナイターキックソフト大会です。私自身、初めて聞く種目であり、10月15日夕期待に胸ふくらませ向かいました。本大会は計3回あり今日はその最終回、総当たり戦の最終日です。

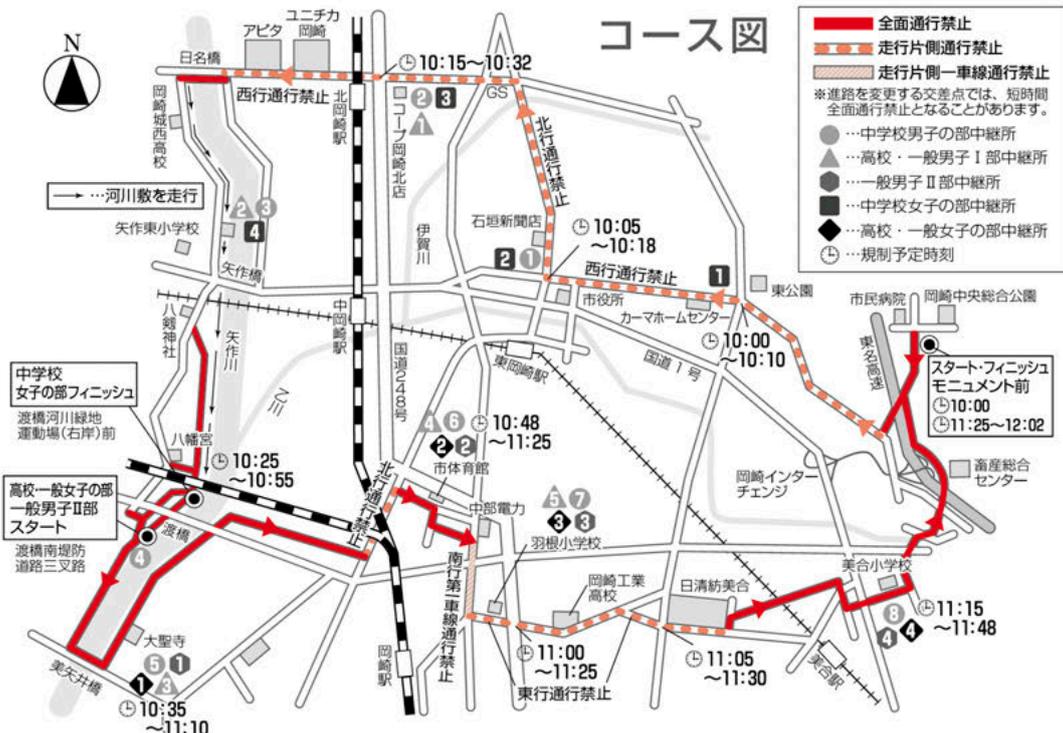


この競技、1チーム9名編成でピッチャーが投球するのではなく、ホームベースに置かれたボールをキックするところから始まります。使用するボール(柔らかいゴム球のような)がミソです。勢いよく蹴った時にはグニョンと大きく曲がりますし、大人がボールを目一杯蹴って外野の頭上を超えても失速も早く、じきに追い付けホームランにはなりにくい。ルールとしてはフットベースボールに似ています。

実際に試合を見てみて、大人・子どもが混じっても楽しめる競技であると感じました。守備においてもタッチはもちろん、ボールを投げて当ててもアウトに出来ることから、一目散にベースに向かうのではなく、ボールを当てるandかわす、のプレイが出たり、見ていてドキドキする場面もありました。「やってみると面白いヨ!」とお薦め種目です。

緑丘学区では、他にも6月インディアカ大会、9月ファミリーバドミントン、11月グランドゴルフと活発に活動されています。最後になりますが、当日お世話いただいた緑丘学区スポーツ推進委員・体育協会の皆様、ありがとうございました。

## 市民駅伝規制図



発行 ● 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会  
 編集 ● 岡崎市スポーツ推進委員連絡協議会広報部  
 事務局 ● 岡崎市市民生活部市民スポーツ課 (TEL23-6363)